

指定管理者制度導入施設の運営状況（平成26年度）

1. 施設名等

施設名	大分県社会福祉介護研修センター	所在地	〒870-0161 大分市明野東3丁目4番1号
		電話番号	097-552-6888
		ホームページ	http://www.okk.or.jp

2. 指定管理者および県の所管部課（窓口）

指定管理者	名称 社会福祉法人 大分県社会福祉協議会 所在地 大分市大津町2丁目1番4号 指定期間 平成23年4月1日～28年3月31日	県の所管部課 (局・室)	福祉保健部地域福祉推進室 TEL：097-506-2620
-------	-------------------------------------------------------------------------------	-----------------	----------------------------------

3. 施設の概要

設置年月日	平成5年11月12日
設置根拠	大分県社会福祉介護研修センターの設置及び管理に関する条例
設置目的	社会福祉事業に従事する者に対する研修、介護に関する研修、福祉用具の展示等を行うことにより、社会福祉事業従事者の資質の向上と県民の介護に対する理解と参加の促進を図り、もって県民の福祉の増進に資する。
事業内容	①社会福祉事業従事者を対象とする研修 ②介護に関する研修 ③高齢者及び介護者の総合相談 ④福祉人材に係る無料職業紹介 ⑤福祉機器等の展示及び情報提供 ⑥①～⑤のほか、社会福祉介護研修センターの目的を達するために必要な事業
施設内容	大ホール[200人室]、小ホール[100人室]、研修室、図書情報室、調理実習室、和室実習室、トイレ実習室、ペット実習室、入浴実習室、相談室、休憩室・食堂、福祉用具展示場、高齢者総合相談センター、福祉人材センター（福祉人材無料職業紹介所）、住宅改造モデル展示場、災害物資備蓄倉庫
使用料等	[該当なし]
閉館日	①月曜日、②国民の祝日（その日が土曜日又は日曜日にあたるときを除く。） ③12月29日から翌年の1月3日までの日

4. 目標指標の達成状況

指標	年度	目標数値	実績	達成率(%)
利用者満足度 評価レベル4 (5段階評価)	平成23年度	4.00	4.49	112.3%
	平成24年度	4.00	4.51	112.8%
	平成25年度	4.00	4.53	113.3%
	平成26年度	4.00	4.54	113.5%

5. 施設の利用状況

利用者数(人)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	累計
	平成23年度	2,953	2,815	2,839	4,854	4,696	3,744	
平成24年度	1,830	2,918	3,949	4,317	4,150	3,519		
平成25年度	2,926	3,057	3,999	3,831	3,893	3,210		
平成26年度	2,576	3,137	4,841	4,758	5,201	5,312		
年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	
平成23年度	4,035	4,929	2,509	2,892	3,824	2,360	42,450	
平成24年度	3,834	3,471	2,745	1,907	3,719	1,964	38,323	
平成25年度	3,820	5,837	3,527	2,418	3,067	2,807	42,392	
平成26年度	6,141	5,957	2,304	3,239	3,761	2,064	49,291	

6. 利用者満足度調査等の実施状況

利用者満足度調査	実施方法	全研修会においてアンケートを実施 アンケート内容:内容等にかかる5段階評価及び施設・職員対応等に対する意見記入 対象研修数:58、対象者数:19,036名、回答者数:17,183名、回収率:90.3%
	実施結果	研修会等のアンケートの評価レベルについては、4.54と高評価であった。 ・最高:4.96、最低:3.94、平均4.54 ・アンケート調査を分析し、受講者の要望等を次年度以降の研修の企画等に反映させてきた結果、テーマ設定、講師選定ともに受講者の評価が向上し、評価レベルの平均値が毎年アップしている。 ・意見についても、施設の整備・維持、職員の対応、研修内容、講師選定について良好な評価を得ている。
利用者等からの主な意見・要望・苦情		左の対応状況
・研修会などの情報が小さい施設には届かないと聞きました。たくさん研修に出たいと思っておりますが、どうしたらいいのでしょうか。		・これまでは社会福祉法人を中心に、法人単位で郵送方式により研修案内をしてきたが、民間の事業者・事業所等が大きく増加していることから、各事業所単位で電子メール方式により研修案内を行うこととした。
・視覚障がい者(全盲)の受講者の方から、研修テキストの電子データ(ワード等)があれば、自分の読み上げソフト等の利用で研修効果を高めることができるので、電子データの提供ができないか要望があった。		・研修初日に申出があり、速やかにテキスト出版社への電子データ提供の有無や、講師の承諾を確認して、研修期間内に視覚障がい者へ電子データの提供を行うことができた。
・手洗い用の固形石けんは泡立ちがほとんどないため、ポンプ式の手洗い石けんに変えてもらいたい。ハンドソープなど、感染源とならないものにしてほしい。		・感染源対策も考慮して、全ての洗面所、炊事場及び食堂に固形石けんからポンプ式手洗い石けんへ変更し、備え付けた。
・乗合バスで来館した高齢者の方から、停留所から研修センターまでの登り坂道(距離約300m)がきつかった。研修センター内にバス停の設置や駅等からのシャトルバス運行の意見があった。		・乗合バス会社にバス停設置の可能性について、協議したが、道路幅員の関係やバス運行ルート変更の困難さから、難しいと回答であった。
・昼休み前の窓口について、職員1名で窓口対応しながら、一方で電話対応にも追われていた。昼休み時間の周知について検討してどうか？		・複数の研修会の対応のため、窓口業務が一時的に手薄になったものと思われる。従前どおり、窓口業務に当たる職員数に配慮しながら、親切丁寧な対応を心がけるよう職員を指導していく。

7. サービス向上に係る主な取組内容

サービス提供体制の強化	<p>① すべての研修会でアンケート調査を行い、また、各階の来館者の目に付きやすい場所に「ご意見承り箱」を設置するなど、幅広く利用者の声を聞く機会を設けている。利用者の意見・要望は、毎月開催する所内会議で検討し、対応出来るものから速やかに実施するとともに、意見等に対する回答書を作成し、月毎にまとめて、玄関入口の掲示場所に掲示している。</p> <p>② 民間の福祉事業者・事業所の大幅な増加に対応して、従来の社会福祉法人を中心とした文書での研修案内から、きめ細かく各事業所あて直接電子メールでの研修案内を実施し、広く情報提供を行っている。</p> <p>③ 市町村等と連携をさらに密にし、県内各地に出向いて行う「地域介護教室」を豊後大野市など9市町(23回)で開催し、参加者数の増を図った。</p> <p>④ 高齢者総合相談センター(シルバー110番)について、認知症に関する困難事例等の相談が増加する中で、「認知症の人と家族の会大分県支部」と連携した相談体制の充実に努めたほか、併設する福祉用具展示場に、介護ロボットの体験型常設展示を行うなど最新鋭の福祉用具を展示し、福祉用具の普及啓発に努めた。</p> <p>⑤ 求職者の求職活動の参考資料として、「福祉の仕事・資格ガイドブック」を作成・配布した。</p>
イベント等の充実	<p>① 福祉のしごと就職フェアの開催[8月10日(日)、2月15日(日)] 参加者数849名 参加事業所 延べ128事業所 就職決定者数143名</p> <p>② 「センターまつり2014&げんきフェア」(新たに県保健医療団体協議会と共催実施/11月2日):福祉用具アイデア作品展、介護食コンテスト、福祉用具・介護ロボットの体験型展示会、福祉車両展、福祉体験・相談等の実施 参加者1,046名</p> <p>③ 福祉用具・介護ロボット普及研修フォーラムの開催(1月22日[木]) 参加者数100名 紹介器具:メンタルコミットロボットパロ、コミュニケーションロボットパルロ、イーテリアマット、みまもり支援システム、アシストホイール、マッスルスーツ、ロボットスーツHAL等</p>

8. 管理に係る収支の状況

(単位：千円)

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
収入額(A)		215,960	216,871	214,656	208,320
内 訳	県からの委託料	150,305	150,305	150,305	154,599
	県からの委託料(別途委託事業)	54,805	52,413	40,488	42,094
	大分市等委託料	484	484	484	484
	資料代	8,224	6,456	7,122	7,871
	その他収入(繰入金)	2,142	7,213	16,257	3,272
支出額(B)		215,960	216,871	214,656	208,320
内 訳	人件費	108,732	114,920	119,258	108,292
	維持管理費	32,049	30,987	32,155	32,608
	事業費(指定管理)	28,294	27,014	29,274	31,297
	事業費(別途委託事業)	46,885	43,950	33,969	36,123
収支差額(A-B)		0	0	0	0

9. 施設使用料等の収入状況

利用料金(千円)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	平成23年度							
	平成24年度			該当なし				
	平成25年度							
	平成26年度							
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	平成23年度							0
	平成24年度							0
	平成25年度							0
	平成26年度							0

10. 指定管理者の管理体制

施設管理体制	<pre> graph TD Director["所長 (嘱託)"] --- Deputy["副所長 (嘱託)"] Deputy --- Dept1["総務人材部長(副所長兼務) - 部員11 (プロパー2、嘱託7、臨時2)"] Deputy --- Dept2["介護研修・総合相談部長(プロパー) - 部員7 (プロパー2、嘱託3、業務援助2)"] Deputy --- Dept3["社会福祉研修部長(プロパー) - 部員5 (プロパー2、嘱託1、業務援助1)"] </pre>							
	職員数 (H 26.4.1)	正規職員	パート	嘱託	他社から派遣	臨時職員	その他	
	8		13	3	3			27

1.1. 適正な管理運営に係る主な取組内容

<p>職員の資質・能力の向上</p>	<p>① OJTにより、職員の接遇向上に努めた。</p> <p>② 研修企画会議など研修企画力を高めるための職場内研修を実施した。</p> <p>③ 大学・関係機関等が開催する専門研修へ積極的に参加し、専門知識及びスキルを深めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都道府県・指定都市社会福祉研修実施機関職員研修会(神奈川県) ・福利厚生センター全国会議(東京都) ・日本老年泌尿器科学会(山形市) ・職業紹介責任者講習会(福岡市) ・福祉人材センター業務・法令研修(東京都) ・日本ケアマネジメント学会研究大会(新潟県) ・県地域リハビリテーション研究会合同研修会(別府市) ・マッチング機能強化研修(東京都) ・日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会(東京都) ・大牟田市徘徊SOSネットワーク模擬訓練視察(大牟田市) ・高齢者疑似体験インストラクター養成研修会(東京都) ・国際福祉機器展(東京都) ・福祉人材センター・バンク基幹職員会議(東京都) ・社会福祉研修実施機関代表者連絡会議(静岡市) ・福祉用具、介護ロボット講師養成研修会(東京都) ・求人・求職マッチング活動等に関する実践研究会議(熊本市) ・福祉用具相談・研修機関協議会全国会議(東京都) ・九州ブロック介護実習・普及センター等代表者及び担当者会議(長崎市) ・社会福祉協議会、社会福祉施設職員会計実務講座(神奈川県) ・九州ブロック高齢者総合相談センター連絡会議(鹿児島市) ・全国ノーリフト医療協議会設立準備会(東京都)
<p>安全対策等</p>	<p>① 感染症予防対策として、年度当初及び流行期前に、職員研修を開催し、「施設管理マニュアル」・「事故等対応マニュアル」・「新型インフルエンザ対応マニュアル」の周知徹底を図るとともに、平常時からの危機管理意識の保持に努めた。</p> <p>② ノロウイルス感染対策としては、新たにノロウイルス対応マニュアルを策定し、保健所保健師による職員、清掃委託会社従業員への研修会実施、嘔吐物処理キット配備を行い、全職員が適切な対応ができる体制を整えた。</p> <p>③ 総合消防訓練(年2回)、救急法(人工呼吸・AED操作)研修会を開催し、緊急の際には、全職員が適切な対応ができる体制とした。</p> <p>④ 危険箇所の早期発見のため、施設や設備等の日常点検を行うとともに、破損や故障等箇所について速やかに修繕を行った。特に実習に使用する備品については、実習前点検も行い、事故の未然防止に努めた。</p> <p>⑤ エレベーター、自動ドア等の施設設備については、専門業者による定期保守点検を行った。</p> <p>⑥ 危険物の保管箇所については、施錠による厳重な管理を行った。</p> <p>⑦ 防犯・環境美化のため、日常的な館内の見回りを行った。</p>